

令和7年度 第2回守口市総合教育会議

○議事日程

令和7年10月2日（木）午後3時00分 開会

○出席委員（4名）

市長	瀬野 憲一
教育長	田中 実
教育委員	中野 澄
教育委員	杉岡佐緒理

○事務局

企画財政部長	林 慶
企画課長	内橋 真吾
企画課長代理	佐藤 利秀
企画課主任	山本 晋士
企画課主査	阪口 智彦
教育部長	高橋 幸司
学校教育指導監	原田 英和
教育部次長	瀬尾 邦雄
教育総務課長	水野 敦夫
教育総務課主幹	藤岡 幸宏
学校教育課長	中西 崇介
学校教育課長代理	山口 喜孝
学校教育課主幹	前馬 彰策
保健給食課長	鈴木 将巳
教育センター長	間宮 大輔

~~~~~

◇ 午後 3時00分開会

○事務局 定刻となりましたので、令和7年度第2回守口市総合教育会議を開催させていただきます。開催に先立ちまして、市長から一言御挨拶を申し上げます。

○瀬野市長 教育委員の皆様には、本当に日頃から本市教育行政の推進にお力添えをいただき、また、本日は大変お忙しい中、市役所まで足をお運びいただき、この総合教育会議

に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、令和7年度の第2回目の総合教育会議でございます。今日の会議では、前回に引き続きまして次期守口市教育大綱について御議論いただくとともに、「学力向上」についても、現状と今後の方向性などの議論を深め、取組を進めていきたいと思っています。

皆様には、今後の守口市の教育行政の発展に向け、今回も忌憚のない御意見をいただきますようお願い申し上げ、開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局     ありがとうございます。それでは早速議事に移らせていただきます。

本日はお手元の次第に記載のとおり2議案を予定しており、会議時間は1時間程度を想定しております。

配付資料でございますが、資料1-1から資料2までの合計3種類の資料となっておりますが、皆様、過不足等ございませんでしょうか。

それではお手元の次第に沿って、まず議題1「次期守口市教育大綱の策定」について、事務局から説明いたします。

○事務局     それでは、議題1について、御説明いたします。

次期守口市教育大綱につきましては、前回の第1回会議において、事務局案をお示しし、委員の皆様から御意見をいただきました。

このたび、委員の皆様からの御意見を踏まえ、次期教育大綱案の修正案を作成しました。資料1-2「第3次守口市教育大綱（案）の主なご意見について」に沿って御説明いたしますが、資料1-1「第3次守口市教育大綱（案）」も併せて御覧いただければと思います。資料1-1では、前回の御意見等を踏まえて修正した部分を、黄色の網かけでお示ししております。

資料1-2には、第1回会議での御意見と、御意見に対する市の考え、そして第3次大綱の当初案と修正案を記載しております。修正箇所は下線を引いております。

まず、表の1番について、大綱全般に関して、「第2次大綱の基本方針には、これまでの取組や実績、目標が書かれており、取組や実績が書かれているほうが想像しやすく、実感しやすいのではないか。」といった御意見をいただきました。こちらの御意見に対する、市の考えとしましては、第1回会議でも御説明しましたとおり、教育委員会では、教育大綱を踏まえ、実行計画として具体的な施策の方針や取組等を定めるとともに、到達すべき数値目標を設定する「めざす守口の教育」を策定していることから、具体的な取組等は、「めざす守口の教育」に定めることとし、「教育大綱」はあくまでも、「教育理念」と「基本方針」のみを定めることと整理したことから、大綱案は修正しておりません。

次に、2番について、「5. 教育に対する理念」に関して、「将来における社会の変化が予測困難な時代においてとあるが、既に予測困難な時代に突入しているのでは」という御意見がございましたので、修正案のとおり、文言を修正するとともに、「策定にあたっての考え方」の部分でも、同様の趣旨で細かい文言と併せて修正をしております。

2 ページにまいりまして、次に、「6. 基本方針」の【基本方針1】に関する御意見とし  
まして、3 番について、「基本方針1 の2 段落目が少し長い感じがある」という御意見と、  
4 番について、「心理教育の記載についてイメージしづらい」との御意見がございました。  
これらについては、資料右側に記載のとおり、文章を整理するとともに心理教育を「キャリ  
ア教育」に修正しております。

最後に、5 番と6 番について、「5. 教育に対する理念」と「6. 基本方針」に関して、  
「教育に対する理念に込めた思いを、3 つの基本方針がどう受けているのか議論が必要」と  
いう御意見をいただきました。市の考えとしては、御意見を踏まえ、「教育に対する理念」  
に書かれている内容が、どこの基本方針で受けているかを明確にすべきとの観点から、【基  
本方針1】では、「自らの目標の達成や夢の実現に向けてやり遂げる意志を育てます。」と  
いう文言と、「自らの郷土を知り、また国際理解についても見識を深める取組を推進しま  
す。」という文言をそれぞれ追記しております。

そして、【基本方針3】においても、「本市の文化や歴史を学ぶことができる環境づくり  
にも取り組むことで」という文言を追記しております。

最後に、資料1－2に記載はありませんが、その他の修正として、分かりやすく簡潔な文  
言とするため、全体的に文言修正を行っております。

説明は、以上でございます。

○事務局 事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、各委員の皆  
様から御意見、御質問等はございませんでしょうか。御遠慮なく、積極的な御提言などを頂  
戴できれば幸いです。

○中野教育委員 第1 回の意見を受けていただいて、適切に御修正いただきましてあり  
がとうございました。文言が変わったところの理由をもう少し詳しく2 点お伺いします。

まず1 つ目は、資料1－2 の一番左の2 番のところの市民全体でというところが、下から  
8 行目ぐらいにもともとあったのを地域社会全体でというこの辺りを変えたということの  
狙いというのを1 点。

それからもう一つは、先ほど御説明あった心理教育をキャリア教育に変えたというのは、  
印象としては随分違う気がするんですけど、この辺りの狙いということにつきまして、教  
えていただければと思います。

○事務局 まず市民全体を地域社会全体に変更した意図でございますけれども、ここの  
文言の前段のところにも保護者や地域の方々といった意味もございますので、それらも踏  
まえ、地域社会全体で子どもたちを支えていく体制づくりが必要不可欠という形に修正し  
てございます。

もう1 点の心理教育につきましては、前回も御指摘いただきました点も踏まえまして、改  
めて教育委員会事務局と御相談させていただく中で、趣旨を踏まえた上で書きぶりをどう  
するかと考えたときにキャリア教育という形で文言を修正したものでございます。

○事務局 追加でよろしいでしょうか。今の心理教育からのキャリア教育というところ

なんですけれども、人権尊重教育、道德教育という並びでいくと、心育てる教育という部分はここでもう言えているので、このキャリア教育というところは、この段落の最後のところにあります、自らの目標の達成や夢の実現というところ将来の自分の姿というのを思い描いて、学校教育を進めていってもらいたい。そういう思いの下、このキャリア教育というのを、まず言わせていただいたという流れになります。

○中野教育委員　2点目は分かりました。1点目もちよっとこの私の理解で良いかどうか確認させてください。要は大学や企業の交流もというふうになると、実は市民じゃない方もそこの中にはいらっしゃるので、そういう意味では地域社会というふうにくくったほうが内容と重なるだろうという理解ですかね。

○事務局　おっしゃるとおりでございます。

○中野教育委員　分かりました。ありがとうございました。

○瀬野市長　今、中野委員御指摘の1点目の市民全体というところが地域社会全体になったという、今の中野先生の御説明と御認識で間違いないと私も思います。それと、市民全体という言葉は、どことなく私も違和感を感じていました。よく使われるのは社会全体というような言い方で、それは先ほど中野先生おっしゃった大学、企業それからもちろん市民、地域、家庭全て含まれると思うんですけど、それを表す言葉として地域社会全体というような整理になったのかなと思っています。

○事務局　他に御意見ございませんでしょうか。

それでは、本日お示しさせていただきました、こちらの教育大綱案の内容を持ちまして、今後固めてまいりたいと思っております。

それでは、次に議題に移らせていただきます。続きまして議題の2、学力向上につきまして事務局から説明をお願いいたします。

○事務局　学力向上の取組について、現状と今後の方向性を、資料を基に御説明いたします。

まず、資料上段「全国学力・学習状況調査」の結果の部分を御覧ください。

令和7年度の本市の平均正答数について、全国との差はほぼ1問以内でした。全国を1としたときの令和4年度から令和7年度の推移からも、その差が縮まっていないことが課題として挙げられます。

次に、中段の児童生徒アンケートでは、成果が見られる項目について記載しております。注目していただきたい点は、学習に向かう意識や読書習慣の向上です。

1つ目は、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」という項目です。直近の調査では、前回調査より小学校では1.4ポイント、中学校では1.6ポイントの向上が見られ、全国平均を上回っています。自立して学べるよう、さらなる向上を目指してまいります。

2つ目は、ICT機器の活用に係る項目です。こちらも全国平均を上回り、ここ数年で大きく向上していることが分かります。直近の調査では中学校の数値がやや減少しております。

す。令和6年度の数値は年度末時点の数値でございます。中学校の令和6年度7月時点では42%であり、今年度の同時期比較としましては、11.6ポイント上回っております。昨年度は、2学期以降、各校の授業研究の機運の高まりと合わせて年度末時点までに15.9ポイント上昇しましたので、今年度についても2学期以降授業でのさらなる活用が進むものと見込んでおります。

3つ目は、「月に1回以上、学校図書館や地域の図書館に行く」という、読書習慣に関する項目です。直近の調査では、前回調査より小学校では4.4ポイント、中学校では1ポイントの向上が見られ、全国平均を上回っております。児童生徒が本に触れる機会は増加傾向にあり、今後も読書週間の向上に取り組んでまいりたいと考えております。

これらは、子どもたちの学びに対する意識が確実に高まっている証拠であり、大変うれしい状況と認識しております。

しかしながら、教科調査の結果に現時点で大きな伸びが見られないことは課題です。学習に向かう意識の向上や読書習慣等は教科調査にも大きく関係すると認識しておりますので、今後も中長期的に取り組んでいく必要性を感じております。

最後に、下段には今後の取組を記載しております。これまで御説明させていただきました、成果と課題を踏まえ、記載の3点を総合的に推進し、学力向上を目指してまいります。

1点目、学力向上推進教員の配置により、チーム学年担任制を円滑に導入し、授業改善を推進します。この取組について、府の担当者からは「このような全市的な取り組みは例がない」と評価をいただいております。

2つ目、土曜日学習や放課後学習を継続し、基礎学力・学習習慣の定着に向け引き続き取り組みます。

3つ目、先進自治体への視察を通じて、ICT活用や授業改善の先進事例を取り入れ、教育観のアップデートを図ります。

本市の子どもたちの強みを生かし、さらなる学力向上を目指してまいります。また、全教職員とこのビジョンを共有し、オール守口で進めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○事務局 事務局からの説明が終わりました。

ただいまの説明につきまして、各委員の皆様から御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。

○瀬野市長 今、説明を受けた2番のアンケートですけど、真ん中のICT機器の部分は7年7月時点のデータなので、これが年度末時点では上がると思いますという分析やっただけですね。この1つ目の部分と3つ目のこの図書館に行く習慣という、この2つも年度途中のデータなので、年度末になるとこれよりも上がりますということでもいいんですか。それともこれはこの数字で確定という理解でいいですか。

○事務局 市長おっしゃっていただいたとおり、ここから2学期、3学期と更に向上していく見込みでおります。

○瀬野市長     なるほど。ということは5、6と来て例えば来年の今頃このデータを示していただくと、令和7年度の数字は今の7月時点の数字よりも上がっているだろうとそういうことですか。

○事務局     そのように考えております。

○瀬野市長     分かりました。ちなみに真ん中のそのICT機器ですけども、小学校等のデータは7月時点でもう63.8%ということで去年を上回っているんですけど、令和6年の同時期の数字というのは、先ほど中学校等は42%という数字をお示しいただいたんですけど、小学校等の去年の同時期は何%ですか。

○事務局     小学校については、ちょうど1年前同時期は46.4%でしたので、非常に大きく向上しております。

○瀬野市長     分かりました。ありがとうございます。

○杉岡教育委員     このアンケートから上昇傾向にあるということで非常にうれしく思っておりますし、あとこのアンケート今載せていただいているアンケート以外でも、自己肯定感のアップが出ていたと思うんですけど、先生方が子どもたち1人1人にしっかりと寄り添った教育をしてくださっていて、本当にその結果が出ているのかなとうれしく思っております。

今回、全国平均との差はほぼ1問以内であるものの、差が縮まっていないというところなんですけど、その要因の1つとしても考えられるのが、家庭学習時間の減少とっております。共働き家庭も増え、なかなか家庭の中だけで見ていくことも難しい状況にあるので、今後放課後学習教室など地域の力もお借りしながら、地域全体で見守っていくことが今まで以上に必要になってくるというふうに感じています。

あと続けて1つ質問させていただきたいのですが、アンケートの一番右端学校図書館や地域の図書館に行くというアンケートのところですね。こちら結構上がりがいい感じに思っているんですけど、守口市では学校図書館の環境整備を2校していただいていると思います。その2校の生徒の上り率がすごく、他の学校がということではなくて全体的にどの学校も上がっているという認識をさせてもらっているのでしょうか。

○事務局     はい、その2校だけじゃなくて全体的に向上傾向が見られるという状況でございます。

○杉岡教育委員     うれしいですね。考えられるとしたら先生からのお言葉とかそういう声かけがあつてのことでしょうか。

○事務局     もちろん先生方の日々の声かけも十分考えられますし、モデル校として環境整備をした金田小学校や錦中学校のレイアウトを各校の学校司書がそこを学んで、まずできる配置の工夫などからということに取り組んでいただいていることなども1つ要因として考えられます。

○杉岡教育委員     ありがとうございます。全校にそれが広まって、もっともっと増えるといいなと思っております。

○中野教育委員　　まず、この調査の概要をもう少し確認したいんですけど、1番の学力・学習状況調査は小学校も中学校も特定の学年かどうかと、それから2番目のこの市実施の児童生徒アンケートというのは何項目ぐらいあって、これに答えているのは上の1番と一緒に子どもたちなのかを教えてください。

○事務局　　全国学力・学習状況調査は小学校6年生、中学校は3年生が対象でございます。市実施の子どもたちへのアンケート調査は小学校4年生から6年生、中学校は1年生から3年生を対象としております。

アンケートの実施項目数については、約30項目で市から示している項目にプラスアルファ各校が独自で図りたいテーマについて追加して調査しているものでございます。

以上です。

○中野教育委員　　2番のところですけど、7月に実施するということですよね。そのあと上がっていくんだということは何で分かるんですか。もう一回調査しているということですか。

○事務局　　はい、児童生徒アンケートについては7月、11月、2月と各学期末の時期に合わせて実施しておりまして、毎年度そういうもちろん項目によりますけれども、向上の傾向が見られたりする部分もありますので、その辺りから先ほど御説明させていただいたものでございます。

○中野教育委員　　その30項目の中で、特に成果が見受けられるというのがこの3つだと。逆に課題である、なかなか成果が見受けられないなということで言えば、御担当として印象に残っている項目とかを簡単に教えていただければと思います。

○事務局　　先ほど家庭学習習慣のお話がありましたけれども、家庭での学習時間や、学校図書館へ訪れる機会というものは増えてきているものの、読書時間などについては、ここ数年なかなか向上が見られない項目ですので、単純な時間増だけを目標にするのが良い部分なのかどうかというのも検討は必要かもしれないですが、少し数値としては課題が残るものだなと認識しております。

○中野教育委員　　これから守口市は義務教育学校を増やしてということでしょうと実は、2番のところの調査は真ん中と右側は全部小学校のほうが高く、中学校が落ちるじゃないですか、こういうギャップが義務教育学校にすると縮まるんですよというためには、今その小4から6年、中1、中3というのは経年で追えますよね。持っておられるデータは上手に経年で使える可能性があるのではないかなと、また何か見えたら教育委員会定例会等でも教えていただければと思います。

○事務局　　ありがとうございます。今教えていただいた分析方法等も至急調べて、また御説明できるようにいたします。ありがとうございます。

○田中教育長　　3番の左のところに学級王国→チーム学年へ授業改善の推進とあります。これは学力向上推進教員を配置したことで、チーム学年制というのでできているということだと思っておりますけれども、授業改善につながっているというのはちょっともうひとつ分か

りづらいので、その点を教えていただけませんか。

○事務局　これまで学力向上推進教員は特定の学年に所属するというわけではなくて、学校全体に授業改善に係る情報発信等をしてまいりました。今年度からは、特定の学年にモデル学年という形で入り、チーム学年担任制の一員として日々授業のほうに取り組んでいるのですが、少なくともそのモデル学年が同じ基準を持って日々授業に取り組むことで、改善のサイクルが早まっているという話を担当者からも聞いております。またそのモデル学年の取組を他の学年が参考にしてマネをしてということで、学校全体に広がっている様子を報告として受けているところですので、そういった形で授業改善につながっているものと考えております。

○田中教育長　そのモデル学年を置く前、去年では学担の人1人でやっていたと思うんですけども、その学年をモデルとしてやったときのその取組方が変わってきたということなんでしょうか。

○事務局　はい、おっしゃっていただいたように取組方が変わってきたということなんですけど、どういったところが変わったかと言いますと、これまでは担当者は自分1人で全体に発信しないといけないということで、ある意味では孤独を感じていたというお声も聞いておりました。しかし、例えばある学年が3学級だったとしたならば、その学力向上の担当者も含めてその4人の先生たちが発信役に回りますので、年齢層やキャリアや得意な教科等も含めて、その4人が効果的に学校全体に発信をしていただいているとそういったことで仕組みが整ったことで、これまでよりも多くの教職員にその情報が届き、授業改善が進んでいる感覚があるという報告を受けております。

○田中教育長　はい、分かりました。1人でやるよりはチームとしてやるということなのかなと思います。私たちもこれまで学校全体でということが枕詞のように何度も何度も言ってきたのですが、それがなかなか現場の先生方までには浸透しづらいのかなというのは何となく感じていたんですけども、今回のモデルを設置したことによってそれが少しでも進んでいるということが聞けて、非常に良い取組だなと感じました。ありがとうございます。

○瀬野市長　2番のアンケートのところですけど、一番左の「自立して学べるよう、さらなる向上をめざす」となっています。先ほどの説明でいくと令和8年2月の年度末の学期末調査では、ひょっとしたら令和4年、令和5年のこの数字を上回ってくる可能性があるのかなと感じていますがけれども、このさらなる向上という点についてもう少し具体的にこれからどういうことをどんな取組をされようとしているのか、当然来年度に向けて予算を伴うものもあるかもしれませんが、現時点でもしあれば教えていただければと思います。

○事務局　令和6年度7月の総合教育会議でICT・クラウドを活用した授業改善について御説明させていただきました。その際、子どもたちが自分のペースで学習に取り組んだり、自分のタイミングで友達と話し合ったりするという授業の姿の一部をお話ししました。そのような授業は子どもたちが自分の学びのどこが苦手か、どこが得意か、どこまで進めているかということなんかを自覚して、ある意味では自立して学んでいく力というのが必要

と考えております。そのような力というのは、学校教育の義務教育の期間だけではなくて、生涯にわたって必要な力と認識しております。そういった授業モデルというのはなかなか市内に多くはないところがありますが、先進自治体への視察を通してそういう授業モデルに多く触れたり、また市内でもそういった取組にチャレンジしている学校が増えてきておりますので、今年度公開授業を各校2回行っておりますので、その相互参観の機会を大いに活用して自立して学ぶ姿というのは授業の実際の姿を通して、市内で横展開していく、そういったことを地道に続けていきたいなと思っております。

○事務局 他に御意見等ございませんでしょうか。

それでは、ないようでございますので、本日の議題は以上となります。

次に、その他といたしまして、今後のスケジュールについて、御説明をさせていただきます。

○事務局 それでは、「今後のスケジュールについて」御説明いたします。

次回の第3回会議は、先日日程調整をさせていただきましたとおり、11月17日の13時から開催をいたしますので、よろしくお願いいたします。

第3回会議の詳細につきましては、開催日が近づきましたら御報告させていただきます。

○事務局 ただいまの説明につきまして、御意見等ございましたらお願いいたします。

最後に本日の議題、もしくは議題以外で何か御意見等があれば全体を通してございましたらお願いいたします。

御意見等はないようでございますので、最後に主催者である市長から一言お願いいたします。

○瀬野市長 本日も様々な御議論をいただきまして、ありがとうございました。

教育大綱につきましては、皆様から頂戴しました御意見を踏まえ、年度末を目途に、作業を進めていきたいと思っています。

それから今後、市では令和8年度の当初予算の編成作業進んでいきます。

今、教育分野では、守口小学校の建て替え、それから八雲中学校区義務教育学校の整備と進めています。いずれも非常に多額の事業費が発生するということが想定されています。限りある予算の中ではございますけれども、ハードだけではなくてソフト面の充実も図って行かないと思っております。

第3回の会議で予定している議題も含めて、これは取組の優先順位をしっかりとつけてやっていかないなというふうにも思っています。教育委員の皆様におかれましては、今後も教育行政の推進について、引き続き御尽力いただきますようお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

○事務局 それではこれもちまして本日の総合教育会議は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

~~~~~

